

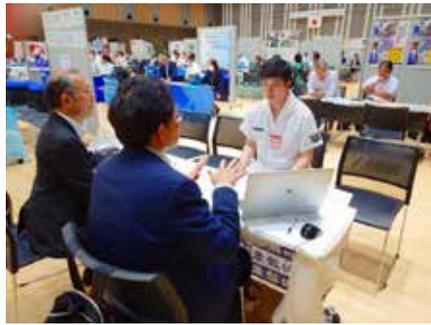


自衛隊栃木地方協力本部

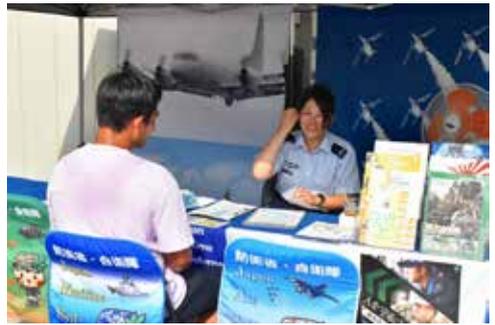
栃木県任期制隊員合同企業説明会



挨拶する参加隊員10名



真剣な面持ちで企業説明を受ける参加隊員



自衛隊の説明をする広報官の様子

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、8月23日（金）、宇都宮市宮みらいのライトキューブ宇都宮において「令和6年度栃木県任期制隊員合同企業説明会」を実施した。

本説明会は栃木県内に再就職を希望する任期制隊員の円滑な再就職準備に向けて例年8月に実施するもので、参加隊員の再就職選択肢拡大のため埼玉県警、栃木県警、栃木県各市消防等の官公庁を初めて招致したほか、栃木県内に所在する企業81社が参加した。

説明会は、参加した10人の任期制隊員からの自衛官らしい節度ある挨拶で始まり、各人は希望企業や興味のある職種の企業ブースに出向き、真剣な面持ちで企業説明を受け、それぞれ再就職に対する不安の除去と退職後の将来に向けたイメージアップに繋がった。参加企業からは、「自衛官としての経験を積み上げた隊員は、企業の即戦力となる得る人材である」という声を多数得ることができた。

また、今年度は昨年開業した宇都宮LR宇都宮東口駅前の好立地での開催であることから同会場で募集・広報イベントを併せて実施した。イベントでは、自衛隊・警察車両の展示やポケットティッシュの配布などを行い、夏休み中の学生や子供達など多くの来場者に自衛隊のアピールをすることができた。



自衛隊車両展示の様子



警察車両展示の様子



出演中の大学生と城代2尉



ラジオで自衛隊の魅力を発信！

大学生と自衛隊トークで盛り上がる！ 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」に出演

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、8月28日（水）、宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」において、大学生による情報番組「つづつづぶ大学放送部」にゲストとして出演した。

番組には、会計職種で栃木県内に臨時勤務中の城代2陸尉が出演し、一般的な自衛隊のイメージとはかけ離れた「縁の下力持ち」として部隊を支える後方職域の重要性を交え、大学生3名と自衛隊に関するトークを繰り広げた。

番組は、「自衛隊について聞いてみよう」をテーマに、大学生から様々な質問が投げかけられ、災害派遣での体験談をはじめ、自衛隊での生活や一日の流れ、隊員のキャリア等幅広い内容で構成された。大学生らしい質問やコメントが飛び交った笑い声があふれ、スタジオ内は終始和やかな雰囲気であった。大学生たちは、これまで持っていた自衛隊のイメージとは異なる後方職域の視点からみた災害派遣の話などを熱心に聞きながら、時折質問を投げかけ、自衛隊の活動について理解を深めていた。特に、災害派遣中の体験談において「被支援者の『ありがとう』という一言に喜びを感じ、やりがいを感じた」という城代2尉の言葉に深く共感を示し、番組内で自衛隊に対する感謝の気持ちを語ってくれた。約55分間の番組が無事終了すると、出演者たちは達成感に満ちた顔で互いを労い、改めて感謝の言葉を伝えあった。

栃木県は、「今後も、このような機会を通じて、地域の方々から自衛隊の魅力を発信し、多くの方々から自衛隊の存在をより身近に感じてもらおう」と、自衛隊に対する関心や理解の促進を図り、募集基盤の拡充につなげていきたいとしている。